

東京臨海広域防災公園 防災フェスタ2026 プログラム

No.	プログラム	内 容	時間	場所/その他
1	パネル展「関東大震災―首都圏を襲った巨大地震―」	約100年前に南関東を中心に甚大な被害をもたらした「関東大震災」を、パネルでわかりやすく解説します。記録映像「関東大震災の思ひ出 九月一日」（約6分）も併せて放映します。	9:30～17:00	場 所：1F エントランスホール 見学科：無料 申 込：不要
2	暗闇・煙体験付き東京直下72hツアー	「東京直下72hTOUR」は、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発生から避難までを、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。10時、14時の回は「暗闇・煙からの避難体験」を追加した内容で行います。（所要時間約40分）	10:00～ 14:00～	場 所：1F 防災体験ゾーン 定 員：各回20名まで 参加費：無料 申 込：当日受付 受 付：1Fインフォメーションカウンター
3	防災講座1 「災害が来た！どうするマンション 準備はできていますか？」 講師 認定NPO法人かながわ311ネットワーク 代表理事 伊藤 朋子	多くの人が同じ建物で暮らすマンションでは、大地震が発生した場合の、長期の停電・断水などを想定した在宅避難の備えが必要です。各家庭だけでなく、マンション居住者全体で備えを考えることも必要です。マンションでの備えのポイントが何かを講座で学びましょう。	11:00～12:00	場 所：2F レクチャールーム 定 員：各回50名まで 参加費：無料 申 込：事前申込 ※定員に達しなかった場合は、当日受付可能
4	防災講座2 「防災介助士が伝える要配慮者の避難介助」 講師：公益財団法人日本ケアフィット共育機構	災害発生時に要配慮者の避難を手助けするためには、状況に応じた声かけや車いすの操作の仕方、段差の乗り越え方などを知っておくと、いざというときに役に立ちます。要配慮者の避難介助を講座で体験してみましょう。	13:00～14:30	講座申込フォーム https://form.run/@tokyorinkai-QEgMGIM3ws3FdCgtXa7z
5	起震機に乗ってみよう	防災体験学習施設そなエリア東京には、「起震機」（きしんき）という、地震の揺れを体験できる機械があります。起震機に搭乗して大きな地震の揺れを体感してみましょう。（所要時間約15分） ※安全管理上、起震機の搭乗は、身長104cm以上の方を対象としております。予めご承知ください。	12:15～ 12:30～	場 所：1F 防災体験ゾーン 定 員：各回10名まで 参加費：無料 申 込：当日受付 受 付：1Fインフォメーションカウンター
6	防災工作教室1 「視覚障害簡易シミュレーションゴーグルを作ってみよう」	視覚障害簡易シミュレーションゴーグルを作って、目が不自由になったときの見え方を体験してみましょう。大地震が起きた時、どのようなことに困るのか、不安になることがあるのかを理解し、相手に寄り添った支援の仕方を考えてみましょう。	10:00～12:00 13:00～15:00	場 所：1F エントランスホール 定 員：シミュレーションゴーグル30名 簡易トイレ15名 参加費：無料 申 込：当日受付 受 付：実施ブース
7	防災工作教室2 「ダンボールで簡易トイレを作ってみよう」	ダンボールを使って簡易トイレを作ってみましょう。大地震で便器が使えなくなったり、トイレを新たに作りたい場合に、作り方を知っておくと、いざという時に役立ちます。		
8	訓練用消火器を使った消火体験	消火器の使い方を知っておくと、出火した際に、速やかに初期消火を行うことができます。訓練用の消火器を使って、消火を疑似体験してみましょう。バケツを使った消火体験もできます。	10:00～12:00 13:00～15:00	場 所：1F エントランスポーチ 参加費：無料 申 込：当日受付 受 付：実施ブース
9	そなえるCAMP 湯せん蒸しパンづくり	ビニール袋とお湯で作れる蒸しパンづくりを体験してみましょう。避難生活では、甘い食べ物が必要になるかもしれませんが、湯せんで調理できることを覚えておくと、いざという時に役立ちます。（所要時間約30分）	11:00～15:00	場 所：多目的広場（園地） 定 員：30名 材料費：300円 申 込：当日受付 受 付：多目的広場